

# 事業箇所総合評価シート

【担当課: 下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業 吉野川浄化センター放流水路整備工事	路線名等	吉野川流域 吉野川浄化センター
箇所名	五條市二見 地内		

事業の概要	目的	国土交通省(直轄)の紀ノ川河川改修工(築堤)に併せて、放流水路を整備する。(現在の放流水路は暫定)			
	事業内容	放流水路詳細設計 一式 放流水路整備工事 一式			
	着手年度	平成29年度	完成年度(予定)	平成30年度	全体事業費 133百万円

事業の必要性	放流水路は、今までは暫定水路であったが、隣接する紀ノ川河川築堤工事に併せて吉野川浄化センター放流水路を整備する。 平成28年度迄 紀ノ川河川改修に係る詳細設計【国】 平成29年度 紀ノ川河川改修に係る用地買収【国】 吉野川浄化センター放流水路詳細設計【県】 平成30年度 紀ノ川河川改修工事【国】 吉野川浄化センター放流水路工事【県】
--------	--

上位計画等	吉野川流域下水道事業計画
-------	--------------

事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	河川築堤工事に併せて、現在の暫定的な水路を整備することにより、排水を確実にを行い、処理施設を安定的に運用することができる。
------------------------------	---

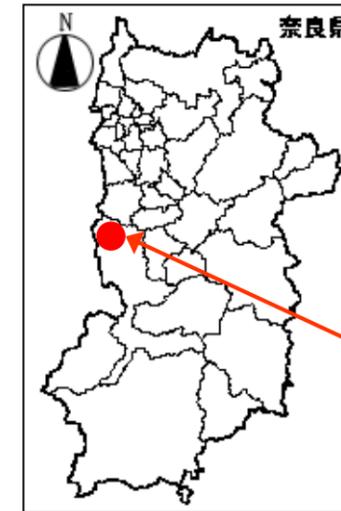
コスト削減への取組み	紀ノ川河川築堤工事や五條市施工工事に併せて施工することでコスト削減を図る。
------------	---------------------------------------

地元情勢等	ライフラインの安定的な確保は社会的に強く求められている。
-------	------------------------------

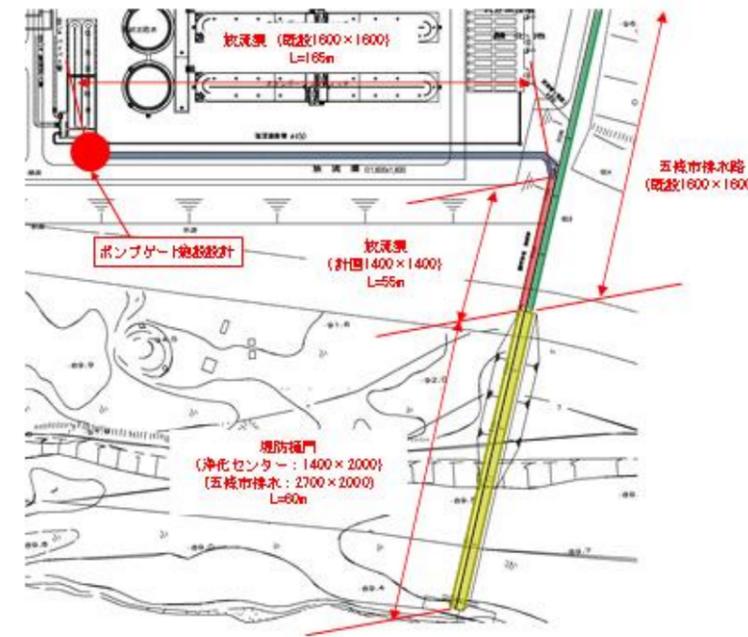
他計画他事業との関連	
------------	--

評価結果	左の理由
採択	国による紀ノ川直轄河川事業と併せ、効率的な吉野川浄化センター放流水路整備の必要性が認められる。

## 【位置図】



施工箇所(吉野川浄化センター)



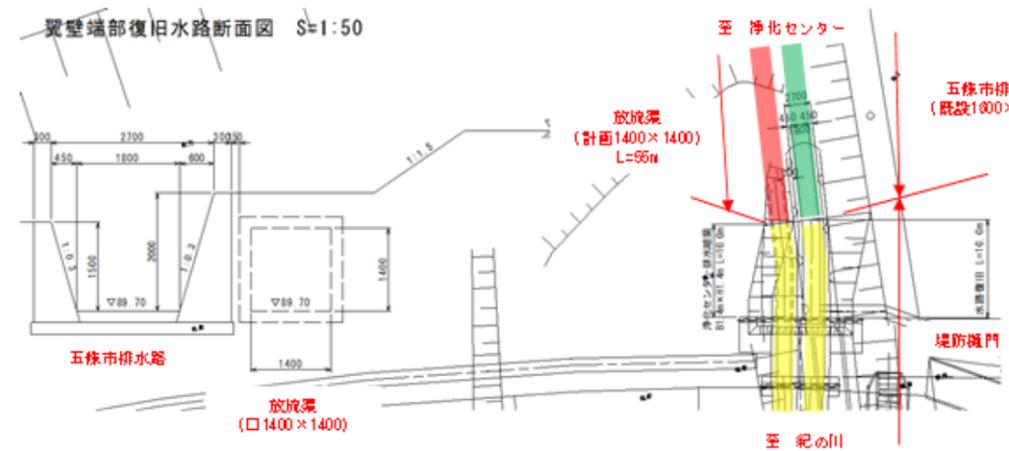
吉野川浄化センター計画平面図

### 特長

- ① 低水位運転が可能  
新設込みカバナーの機能により、満水発生することなく、低水位まで運転が可能になりました。
- ② ポンプの高効率化  
インペラの改良と高効率モータの採用によりポンプの高効率化を実現しました。
- ③ ポンプの高い信頼性  
インペラの材質をステンレスとし、駆動部にはカーボンファイバーを巻いた、信頼性と耐久性を実現しました。さらに、浸水検知器を内蔵し、信頼性を高めています。
- ④ 自然流下可能  
ゲート閉の状態では自然流下が可能のため、ゲートの機能の低下を抑制します。
- ⑤ 設置設備を簡素化  
ゴロが固定付い構造のため、設置設備を簡素化できます。
- ⑥ 操作・維持管理が容易  
水位による自動運転を行うため、操作も自動化です。さらに、遠隔監視システムを採用すると、監視・操作及び維持管理も容易に行えます。
- ⑦ 工期の大縮短が可能  
ポンプとゲートが一体のため、取り付けが大縮短可能です。



ポンプゲート イメージ図



放流渠 標準断面図